

平成23年度 八王子市保健所協議会議事概要

1. 日時 平成23年7月13日（水）午後1時15分～午後2時45分
2. 場所 八王子市保健所 2階 講堂
3. 委員（平成23年7月現在）

	氏名	役職	備考
1	孫田 誠三	八王子市医師会 会長	会長
2	星 旦二	首都大学東京 教授	
3	鈴木 玲央	市議会議員	
4	小林 鈴子	市議会議員	
5	松本 良子	市議会議員	
6	安藤 修三	市議会議員	
7	鳴海 有理	市議会議員	
8	人見 恒夫	警視庁八王子警察署 署長	
9	齋藤 典孝	警視庁高尾警察署 署長	
10	橋本 芳彦	警視庁南大沢警察署 署長	
11	横山 正巳	東京消防庁八王子消防署 署長	
12	赤瀬 眞五	八南歯科医師会 会長	
13	根岸 務	八王子薬剤師会 会長	
14	山本 博史	東京都獣医師会八王子支部 支部長	
15	村田 淳子	八南助産師会 会長	
16	高澤 謙二	東京医科大学八王子医療センター センター長	
17	北川 泰久	東海大学八王子病院 院長	
18	菊池 晴海	八王子市公立小学校長会 代表（南大沢小学校校長）	
19	滝澤 雅彦	八王子市立中学校長会 代表（松木中学校校長）	
20	室岡 喜代二	八王子市社会福祉協議会 会長	
21	伊藤 智昭	八王子市民生委員児童委員協議会 副会長	
22	花上 均	東京都八王子環境衛生協会 会長	
23	峰尾 一彦	八王子食品衛生協会 会長	
24	吉岡 正弘	八王子集団給食協議会 会長	
25	橋本 清明	精神障害者家族会「わかくさ家族の会」 会長	
26	秋間 利久	八王子市町会自治会連合会 会長	
27	田辺 隆一郎	八王子商工会議所 会頭	
28	山本 いく子	市民公募委員	

4. 議事

- (1) 平成 22 年度事業実績について
- (2) 平成 23 年度の主な事業実施状況について
 - ① 飼い主のいない猫対策
 - ② 肉の生食における中毒事故
 - ③ 東京都公衆衛生チーム石巻市派遣報告
- (3) その他

【質疑応答】

質問 1 地域保健の推進事業の中でビデオの貸出し・健康教育があるが、その実績は。

回答 1 22 年度の確定数値はまだありませんが、21 年度については、食品衛生・薬物乱用防止等のビデオ 68 件の貸出しをしました。健康教育については、感染症・薬品に関する講演会・講習会を開催しました。

質問 2 普及啓発活動で 3 課にまたがるものはどうしているのか。

回答 2 保健総務課で取りまとめて広報・啓発活動を実施しています。

質問 3 生活衛生課の食品業者に対する特別用途食品制度・栄養成分表示制度に基づく相談が 22 年度は大幅に増えているのはなぜか。

回答 3 22 年度から「ヘルシーメニュー」事業を始めました。市民・業者の方からの相談が増えたのが要因です。

質問 4-1 難病対策の事業で、難病患者の療養生活をする上での住居は各家庭なのか。

回答 4-1 在宅が非常に多いです。

質問 4-2 筋ジストロフィーの患者が 1 人暮らしをしたいが、物件が見つからないという現実がある。八王子市内で筋ジストロフィーの患者がどのくらいいるのか。

回答 4-2 医療費助成を受けている筋ジストロフィーの方は 11 名です。

質問 5 1 人暮らしの方の支援は。

回答 5 障害の度合い、年齢にもよりますが、ケアマネージャが付くケースや介護・障害者福祉課と一緒に支援します。

質問 6 薬物乱用防止活動の支援の成果は。

- 回答 6 薬物乱用防止推進八王子地区協議会との連携の中で、学生に向けた講習会の設定や小中学校に向けたアプローチ、また PTA と連携を図っています。5 年 10 年後に成果が見えてくるのではないかと思います。
- 質問 7 保健所の職員の体制での変化はあるか。
- 回答 7 移管前の薬物乱用防止推進八王子地区協議会の事務局は地域医療推進課が担っていました。移管後は保健所に事務局を置き、薬事監視ラインと平行して進めています。
- 質問 8 委員の中にも警察の方も出席されているが、保健所と警察との連携は。
- 回答 8 薬物乱用防止推進八王子協議会の中で八王子警察署より指導員にお越しいただくなど、警察と連携を図っています。
- 質問 9 東京都の子猫引取数が激減した理由は他にもあるか。
- 回答 9 想像でしかありませんが、猫の住環境があると思います。ごみの出し方が変わってきていることや、八王子の地域特性もあろうかと思っています。
- 質問 10 猫の里親についての状況は。
- 回答 10 日曜日に保健所の駐車場で 3 年前からボランティアの譲渡会を開催しています。その場で猫を譲渡するのではなく、十分に話をし後日その方のお宅行き、本当に飼える方なのか見極めながら譲渡しています。なぜなら、その場で譲渡してしまうと、逆に野良猫を増やしてしまう恐れがあるからです。保健所で収容した子猫については、日野市の動物愛護相談センターに搬送します。譲渡可能な猫については譲渡を薦めています。返還譲渡率（殺処分しなかった率）については、0.5%しかなかったものが、36%まで上がってきています。
- 質問 11 せっかくできた助成金制度なので広報し市民に活用してもらうように。
- 回答 11 広報ですが、4 月の市の広報に掲載し、ホームページにも掲載しています。また、9 月の動物愛護週間にあわせ、広報特集号を作成し、その中でも PR したいと考えています。
- 質問 12-1 八王子市内で「関係の納入業者」から仕入れている店舗等はあるのか。
- 回答 12-1 現状では把握できておりません。
- 質問 12-2 事件・事故が起こらないとわからないのか。

回答 1 2-2 今回の立入調査では、肉の生食の提供の有無がメインであり、納入業者の調査までは指示していません。

質問 1 2-3 八王子市として国の基準で指導したのか。

回答 1 2-3 国の基準での指導・調査を行いました。

質問 1 3-1 立入調査結果で基準不適合の 32 件は、何が不適合だったのか。

回答 1 3-1 衛生基準では、自主検査をしなくてはならないが、その検査を行っていない業者が多かったです。

質問 1 3-2 立入調査時に食肉だけでなく厨房などの衛生指導はしなかったのか。

回答 1 3-2 実際に店舗内立入し、営業状態を見ています。気づいたことがあればその場で指導しています。

質問 1 3-3 生食を提供している 54 件については今後も指導していくのか。

回答 1 3-3 罰則規定がないので難しい面もありますが、引き続き指導していきます。

質問 1 4 今後何件立入するのか。

回答 1 4 いつまでに何件立入するかは具体的にはありませんが、継続して厳しく指導していきます。

質問 1 5 八王子市に避難している被災者の方への支援は。

回答 1 5 市内へ避難している被災者には総合相談窓口で対応していました。7 月以降は相談等も減少したため、各所管の窓口で対応しています。避難者への福祉的な相談については、保健師が個別に対応しています。

意見 1 6 小中学校への啓発・支援等ありがたい。今後は教育委員会と連携をとっていただき行政の運営をお願いしたい。

回答 1 6 市の保健所になってからは、管理職会議等も市全体で開催されていますので教育委員会とも連携を図っていきます。

意見 1 7 24 時間の連絡体制の構築を要望する。例をあげると、精神障害者がいる高齢の家族の方から 110 番通報があった。本来は警察の業務でなく保健所の業務である。警察の業務は市民の治安の向上・犯人検挙である。

- 意見 18 精神障害の場合、暴力的な行為がかなり切迫している事が多い。家族が危機感をもった場合は、警察に 110 番するしかない。長期間待ってられない瞬間的な判断が必要である。
- 意見 19 例えば、凶器を持って目つきがおかしいとなれば、警察に連絡するのが一般的だと思う。その結果として精神性疾患であった。警察も市民の危機であれば 110 番通報も仕方ない。保健所もその精神性疾患であった場合の受け皿が必要ということではないか。
- 意見 20 今日の会議は実績報告が主であるが、その結果八王子市では安全・安心・健康側面でどのくらい改善したのか等の成果の発表の場であるべきではないか。例えば、毎年 30,000 人超が自殺で亡くなっている。八王子市でも 115 人が自殺で亡くなっているが、20 年から 21 年は 5 人程減少している。これは最大の成果ではないか。このような情報等を共有すべきである。本協議会は、公衆衛生の協議会であるので、今後は八王子市保健所の成果の最終効果と実績の関連等の説明を次回の協議会で望む。